

STAGE+を楽しむ(243)(HP 収録)
—ベームのモーツァルト交響曲第 39 番—

1. 始めに

前報(242)に引き続き、STAGE+のベームが振るモーツァルト交響曲第 39 番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のベームが振るモーツァルト交響曲第 39 番の演奏を選びました。

ベームが振るモーツァルト交響曲第 39 番
コンサート

ウィーン交響楽団

収録日: 1969 年 4 月 17 日

指揮者としてのキャリアをほとんど歌劇場で築きあげ、1981 年に 87 歳で亡くなる直前までオペラから離れることのなかったカール・ベームですが、最盛期の 1959 年～1968 年にかけてベルリン・フィルと行ったモーツァルト交響曲全曲録音と、晩年の 1976 年～1980 年にウィーン・フィルと収録した 6 曲のモーツァルトの後期交響曲集成は巨匠の偉業として今日でも高く評価されています。ここでは 1969 年にウィーン交響楽団を指揮して交響曲第 39 番を演奏する映像をお届けします。ベーム独特の実直な解釈が名門オーケストラのしっかりとしたアンサンブルから美しい響きを引き出す様子をご堪能ください。

演奏:

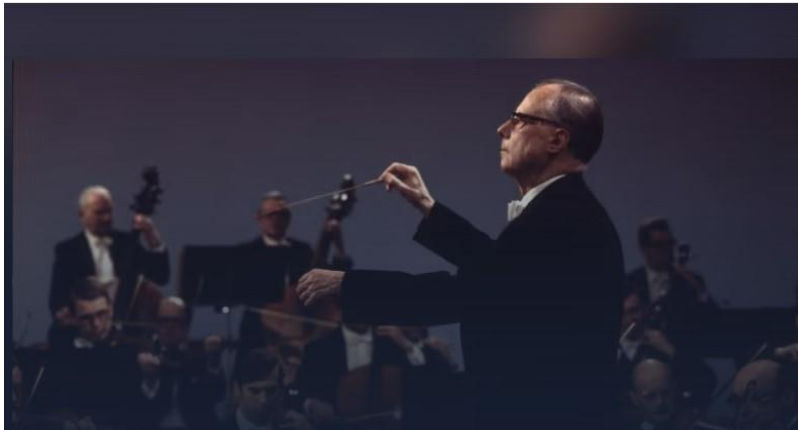
ウィーン交響楽団

指揮:

カール・ベーム

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 交響曲第 39 番変ホ長調 K. 543

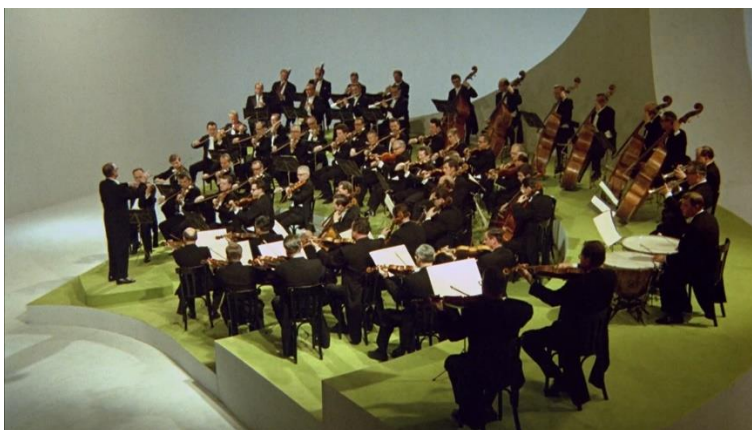


3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** に **Crystal E** を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

1969 年の収録とありますが、音声はモノラルのようで、オーケストラは中央に凝縮しています。映像では無観客のようで、TV 用の収録かもしれません。

ベームはいつもの淡々とした指揮ですが、ウィーン交響楽団からモーツアルトの交響曲第 39 番のウィーンらしい美しい響きを引き出しています。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、モノラルながら凝縮した音のモーツアルトが聴けました。

以上